



# くば小児科 クリニック

院内報 2008年10月・11月号

## ● 院内版感染症情報 ～2008年第44週（10/27～11/2）

2008年	第28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44週
インフルエンザ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
咽頭結膜熱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
A群溶連菌咽頭炎	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
感染性胃腸炎	2	1	0	3	4	2	0	2	4	1	2	1	2	1	0	1	0
水痘	1	1	0	1	0	1	0	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0
手足口病	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0
伝染性紅斑	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
突発性発疹	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2	0	0
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
風疹	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヘルパンギーナ	3	4	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0
麻疹	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性耳下腺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1

10月から11月にかけて、夏かぜの手足口病やヘルパンギーナ、ウイルス性胃腸炎などは下火になっていますが、寒くなってきて急激に増えてきたのがRSウイルスがメインと思われる咳がひどくなるタイプの風邪です。その中にはマイコプラズマ（クラリス等の抗生物質が有効）も含まれていると思われます。

これから冬にかけて最も感染症が増える時期です。晩秋からノロウイルスによる胃腸炎（嘔吐・下痢）が流行し、RSウイルスによる細気管支炎も更に増えてきます。インフルエンザも、仙台で既に学級閉鎖があったという情報です。

## ● インフルエンザの予防接種がはじまっています

前号でもお知らせした通り、10月中旬からインフルエンザの予防接種が始まっています。昨シーズンは12月に流行がピークに達し、その前のシーズンは

春先から初夏まで流行が残るなど、流行のパターンが不規則になってきています。できるだけ年内に終わるように、早めにご予約ください。別紙案内参照。

## ● 麻疹・風疹（MR）ワクチン第3期・4期の接種率が低迷

昨年春の大学や高校を中心とした麻疹の流行を受けて、今年春から5年間限定で開始された麻疹の第3期（中1）、第4期（高3）接種ですが、6月までの接種率は全国平均で中1が38.8%、高3が29.6%と低迷しており、目標の95%とはかけ離れていることがわかりました。青森県は中1が48.4%、高3が36.8%と共に全国11位で、平均を上回ってはいますが、このままの状況では5年間が経過しても若者の間で麻疹の流行を防ぐことはできず、2012年の麻疹根絶（世界の目標）は実現困難と考えられます。

また、今年1月から麻疹患者が全数登録されるようになりましたが、第34週までに10677例の発生報告があり、トップはダントツで神奈川県、次いで北海道、東京、千葉、福岡、大阪などで多く発生していました。青森県でも小規模ですが津軽地域を中心とした流行が発生しました。

流行の中心は、従来からの0歳～1歳児よりも14～17歳にピークがあり、中高年を含めてあらゆる年齢層で感染していることがわかります。麻疹脳炎は8例あり、いずれも10代～40代だったこともこの新たな全数登録制度でわかった事実です。

ワクチンの接種歴は、接種なしが45%、1回接種が26%、2回接種は1.1%であり、1回の接種では一生の免疫を保つことができないことが改めて証明されました。

MRワクチンは通年で接種しています。また、対象の中1・高3以外でも2回接種をしていない方には早期の接種（任意接種）をお勧めしています。

## ● ヒブ（Hib）ワクチンは年明けから開始の予定…

お知らせしていたヒブ（Hib）ワクチンは、正式な情報ではありませんが、当初の予定より大幅に遅れて12月中には接種開始の見込みです。ただし、発売当初は流通量が少ないため、予約・登録制になる方向のようです（おそらく予約の方が長く待たされることはないと思いますが）。当院では年明けから接種

できるように準備したいと思っておりますのでご希望の方はお知らせください。追って接種料金などが決まりましたらご連絡いたします（任意接種＝全額自費）。

接種対象年齢：生後3ヶ月から5歳未満

- 生後3ヶ月～6ヶ月：4～8週間隔で3回、1年後に1回（計4回）
- 生後7ヶ月～12ヶ月：初回免疫は2回、1年後に1回（計3回）
- 1歳～4歳：1回接種のみで追加接種なし（計1回）
- 5歳以上：原則として接種の必要なし（脾臓のない人、免疫不全状態の人、鎌状赤血球症の人は1回接種）

## ● 青森県子育てサークルリスト

平成20年度版「青森県子育てサークルリスト」が青森県子ども家庭支援センターから送られてきました。以前と比べて、八戸市内でも子育て支援センターや子育てサークルなど、親子を支援する取り組みが広がっていることがわかります。「公園に行っても同じ年頃の子どもがいない」「近所に一緒に遊べるお友達がいない」という声をよく聞きますが、そういう方は、お子さんの健全な成長のためにも積極的に地域の子育てリソースを利用してみてはいかがでしょうか。冊子は待合室に置いておきますが、同じ情報はホームページでもご覧いただけるとのことです。 <http://www.apio.pref.aomori.jp/kodomo/>

## ● 11月～12月の診療日、急病診療所、各種教室、相談の予定

11月は臨時休診はありません。年末は12月30日(火) 午前まで診療します。急病診療所当番は11月8日(土) 夜、23日(日) 昼の2回、赤ちゃん教室は11月15日(土) の予定です。育児・子どもの心相談、禁煙外来（保険診療）は随時受け付けております。メール予約システムをご利用下さい。

発行 2008年11月4日 通巻第136号

編集・発行責任者 久芳 康朗

〒031-0823 八戸市湊高台1丁目12-26

TEL 0178-32-1198 FAX 0178-32-1197

<http://www.kuba.gr.jp/>

☆ 当院は「敷地内禁煙」です ☆

## ■ インフルエンザの予防接種のご案内 2008-2009年版

今年も冬の流行に備えて10月中旬からインフルエンザの予防接種を実施します。例年通り、小児には2回の接種が勧められています。

インフルエンザは感染力が非常に強く合併症も多い感染症で、毎年のように小児の脳炎・脳症などによる死亡例が報告されています。

インフルエンザの予防接種は感染したときに発症を防ぐ効果は高くありませんが、入院や死亡などの重篤な合併症を減らすことが知られています。

最近の海外における鳥インフルエンザやSARSの流行、ここ数年の不規則な時期におけるインフルエンザの流行などもふまえて、インフルエンザの予防接種を皆さんにお勧めしております。

鳥インフルエンザ・新型インフルエンザやSARSと普通のインフルエンザを症状だけで区別することは難しく、インフルエンザの診断キットも初期には100%の精度ではありません。また、新型インフルエンザのワクチンは流行開始後すぐに実施できるわけではありません。

私たちにできる対策は、個人防衛としての毎年のインフルエンザ予防接種を進めることであり、WHOや厚生労働省でもハイリスク者を中心に多くの人への接種を呼びかけています。

当院では今シーズンも昨年と同程度の本数を確保してありますが、念のため早めの予約をお願いします。

接種する場合は、なるべく年内に2回目が終わるようにスケジュールを組みましょう。流行が始まってから接種しても効果はあまり期待できません。（昨年は12月中に流行がピークになりました）

☆ なお、高齢者は公費（一部負担あり）で接種できますが、残念ながら子どもには補助はありません ☆

【1】任意接種 = 全額自費 … 0歳～64歳

### ● どんな人が接種した方がいいのか？

○ 生後6か月未満：積極的に接種をお勧めしているわけではなく、接種すれば抗体は上昇することがわかってきましたが、効果は十分に確かめられているわけではありません。本人ではなく家族全員が予防接種を受ける方が防御効果は高いものと思われれます。

○ 生後6か月以降：保育園に行っている子やハイリスク児を中心に、特別な問題がない限り全てのお子さんに接種をお勧めします。

特に接種が勧められる方は、

- 心臓病、腎臓病、呼吸器の病気（喘息を含む）などの慢性の病気がある方
- 乳幼児および高齢者、家族に乳幼児や高齢者がいる方
- 教師・保育士、医療・福祉関係者、警察・消防・自衛隊関係者など、流行時に社会的影響の大きい立場にある方

### ● 方法

- 1歳未満：0.1ml 皮下注射 × 2回 （3,000円/回）☆
- 1～5歳：0.2ml 皮下注射 × 2回 （3,000円/回）☆
- 6～12歳：0.3ml 皮下注射 × 2回 （3,500円/回）☆
- 13～64歳：0.5ml 皮下注射 × 1回または2回 （4,000円/回）☆

※ 2回接種する場合の接種間隔は1～4週間ですが可能なら4週間あけて下さい

### ☆ 同時接種割引について

なるべく多くの方が受けやすくするために、2人以上の方が同時に接種する場合、それぞれの料金から500円ずつ割り引いております。一緒に予約して同じ日に接種していただければ、ご家族だけでなく、親戚やお友達同士でも構いません。

なお、任意接種の料金は病院によって異なります（地域で価格を統一すると独禁法違反になります）。また「料金＝ワクチンの価格」ではありません。医療行為はコンビニでお菓子を売るのとは違いますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

## 【2】予防接種法による高齢者への接種 … 10月～12月（予定）

### ● 対象

- 65歳以上の方（希望者）
- 60～64歳で、心臓、腎臓、呼吸器、HIVにより免疫機能に障害を有する方

● 方法：0.5ml 皮下注射 × 1回（ウイルスの型に大変異がある場合は2回）

● 料金：自己負担は1,000円（予定：残りは自治体が負担）詳しくは通知参照

※慢性の病気で通院したり薬をのんでいる方はかかりつけ医でご相談下さい。